

第1部 山崎章郎さん

看取りは文化ー地域再生の原点に

■ホスピスで学んだこと

- ・苦痛症状緩和の大切さ（WHO方式など）ー医療
- ・インフォームド・コンセントの大切さー医療
- ・ボランティアとの協働の大切さ
- ・生きる意味を見失ってしまった人びとへのケア（スピリチュアルケア）の大切さ
- ・グリーフケア（悲嘆ケア）の大切さ

■ケアタウン小平

1階

在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション
デイサービス、ボランティア拠点
子育て支援拠点など

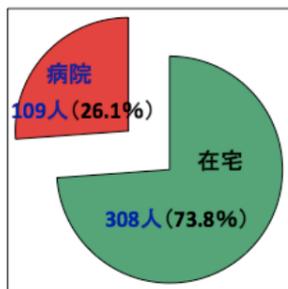
2階・3階

いつぶく荘：賃貸ワンルーム21戸

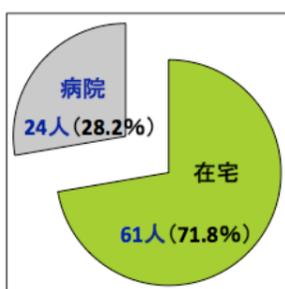
デイサービス送迎範囲：2km
クリニック訪問範囲：3～4km
訪問看護ステーション訪問範囲：3km

■死亡患者 死亡場所 内訳

がん患者 417人中



非がん患者 85人中



2005,10～2011.12

ケアタウン小平クリニック

■場の持つ力

1. 苦痛を軽減する
 2. 変容する家族の力
- ケアタウン小平在宅遺族会
「ケアの木」誕生



ケアの木かたろう会



ことしもまた、新たなえにしを結ぶ会'12!



みんなの願いを大空へ



被災地支援花を見る会
いつぶく荘、デイサービス、ご家（遺）族、
スタッフ、ボランティアの皆さん



文化・スポーツ倶楽部事業
アロマセラピー、豊かな庭づくり事業
各種セミナー及び講演会
地域交流などの企画・運営事業
子育て及び子供の教育に関する相談支援事業



安心して暮らせるコミュニティは・・・

最期まで住みたいコミュニティ

たとえガンの末期であったとしても、

認知症であったとしても・・・

最期まで、人権を守られ、

尊厳と自立（自律）をもって暮らせることを

保証するコミュニティである。



ケアタウン小平スタッフ・ボランティア交流会

